

聖陵

盛岡大学聖陵同窓会報 ● 2000.12 Vol.4

発行者／盛岡大学聖陵同窓会

事務局／020-0183 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字砂込808

盛岡大学内 電話019-688-5555

ホームページアドレス <http://www.nnet.ne.jp/~moridai/>

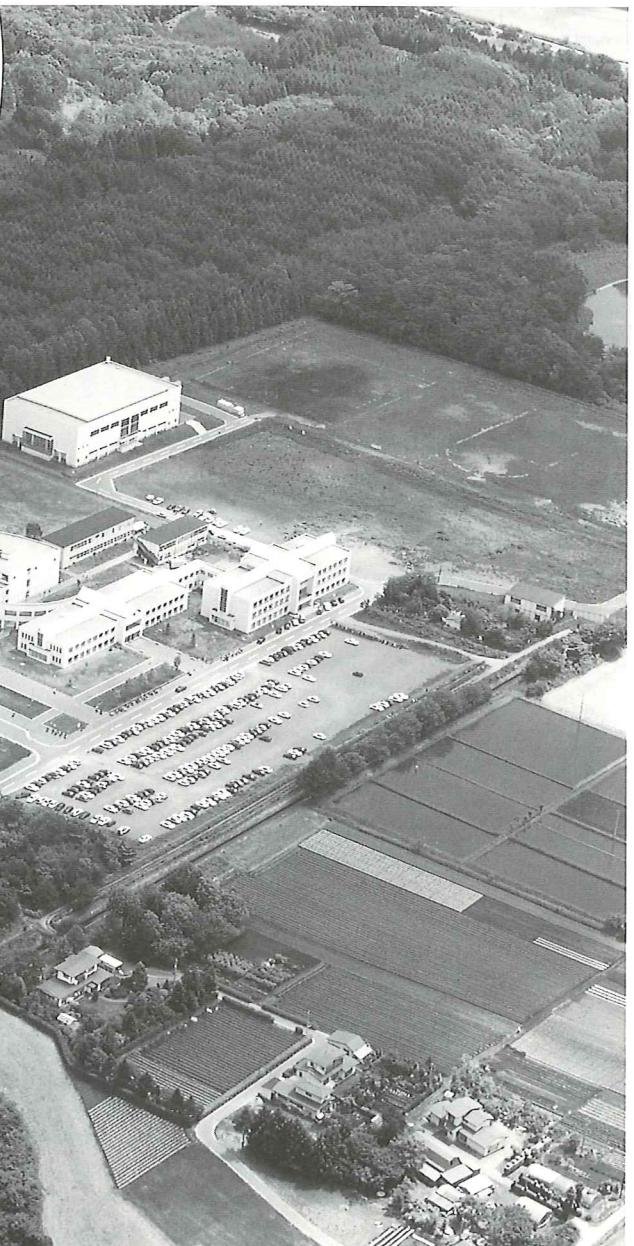
CONTENTS December 2000 Vol.4



平成12年9月23日に開催されたキャンパス見学会です。

盛岡大学学長新任 21世紀の盛岡大学

21世紀の盛岡大学	2
卒業生は今	2
同窓会リサーチ・部活動・サークル活動アンケート結果	3
平成11年度卒業生就職状況	3
インフォメーション聖陵	4



同志会リサーチ・部活動・サークル活動アンケート

質問内容

- ①具体的な活動内容
- ②今後の活動計画
- ③活動を通じて感じたこと
- ④同窓生（盛岡大学の卒業生）へのメッセージ

男子バスケットボール部 9名 女子バスケットボール部 11名	女子サッカー部 11名	男子サッカー部 27名	陸上競技部 25名
<p>①試合に向けての練習 ②新人戦 ③チームワークの大切さ ④みんな頑張っています。たまに見にきて下さい。</p> <p>（週一、二回）県リーグなど大会参加と練習基礎練習、三月頃に県フットサル大会参加予定。</p> <p>③練習は大切だ!! ④部を作ってくれてありがとうございます。楽しくサッカーしています。</p>	<p>①春～秋は、リーグ戦などの大会参加、それに向けた練習。冬は体育館を借りて練習。</p> <p>②来年にある大会に向けて、体育馆で練習します。</p> <p>③団結力 ④暇があれば、顔を出しにきて下さい!!</p>	<p>①春～秋は、リーグ戦などの大会参加、それに向けた練習。冬は体育館を借りて練習。</p> <p>②来年ある大会に向けて、体育馆で練習します。</p> <p>③団結力 ④陸上部に入つて本当に良かったです。すごく楽しいです。</p>	<p>①週三回の全体練習（岩手県立大G）。各大会参加 ②来シーズンに向けての練習。 ③全体練習することで、お互い良い刺激になつてよかったです。</p> <p>④陸上部に入つて本当に良かったです。すごく楽しいです。</p>

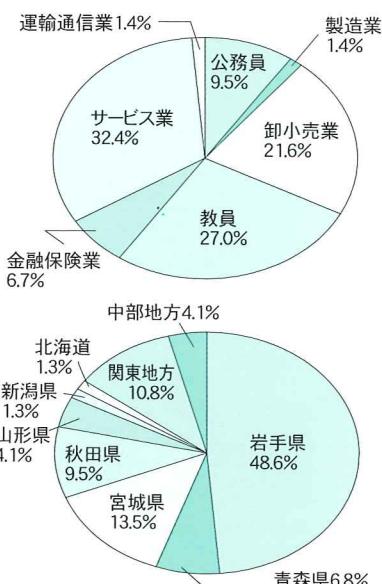
吹奏楽部 43名	美術部 約12名	盛岡大学グランドスラム 30名	ABCカ梅レオンズ 38名	弓道部 26名
<p>①年に一度のコンクール、定期演奏会</p> <p>②十二月の定期演奏会、アンサンブルコンサート</p> <p>③音楽の楽しさ</p> <p>④昨年、卒業生の方から演奏の依頼がありました。私たちで力になれることがありましたら御連絡下さい。</p>	<p>①年に一度のコロナウイルス感染症による公演</p> <p>②デッサンおよび毎月の活動（陶芸、ガラス工芸など）</p> <p>③美術の楽しさや奥深さを知ったことがあります。</p> <p>④部としてやっていけるのも皆様のおかげです。ありがとうございます。</p>	<p>①土、日曜に二～三時間程度の練習。</p> <p>②温泉旅行、スノーボード、体力づくり。</p> <p>③楽しんで野球をしています。</p> <p>④野球を通して、楽しく活動しています。来シーズンも頑張りますので、暇があったら応援に来て下さい。</p>	<p>①年に最低三回の公演</p> <p>②来年三月の公演に向けて頑張っています。</p> <p>③他校や一般の劇団との交流を通して、大勢で一つの芝居を作り上げる大勢で一つの芝居を作り上げることを、とても楽しいと感じています。これは芝居だけのことでは勿論ないと思います。卒業して環境が変わり、様々なものと関わる機会が出来たと思います。その機会を是非大切にして下さい。</p>	<p>①花の生け込み</p> <p>②カワトクにて校外花展と週一度生け込み。</p> <p>③弓道をもつと気軽にみんなにも参加して欲しい。</p> <p>④カワトク校外花展（二月）を見に来て下さい。</p>

RPG研究会 16名	もりだい演劇部 15名	華道部 10名
<p>①毎月一回、定期的に集まってRPGをしています。すると時間が余った人同士で好きなときにす。その後、研究の密度を濃くすることです。</p> <p>②人の想像力があればあるだけ物語は生まれ続けます。想像力の無限性というものをここで学びました。</p> <p>③人生のロールプレイを今度は楽しんで下さい。</p>	<p>①年に一度の芝居を作り上げることを、とても楽しいと感じています。これは芝居だけのことでは勿論ないと思います。卒業して環境が変わり、様々なものと関わる機会が出来たと思います。その機会を是非大切にして下さい。</p>	<p>①年に最低三回の公演</p> <p>②来年三月の公演に向けて頑張っています。</p> <p>③他校や一般の劇団との交流を通して、大勢で一つの芝居を作り上げることを、とても楽しいと感じています。これは芝居だけのことでは勿論ないと思います。卒業して環境が変わり、様々なものと関わる機会が出来たと思います。その機会を是非大切にして下さい。</p>

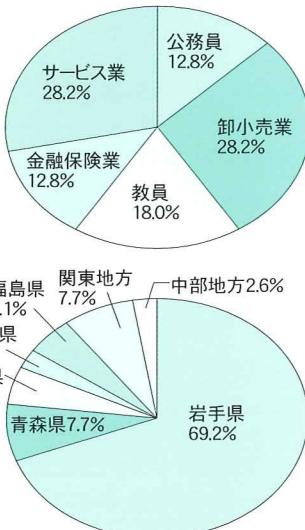
※今回掲載したアンケートは、全ての部、サークルにお知らせをした上で御協力いただいた分です。

平成11年度卒業生の就職状況

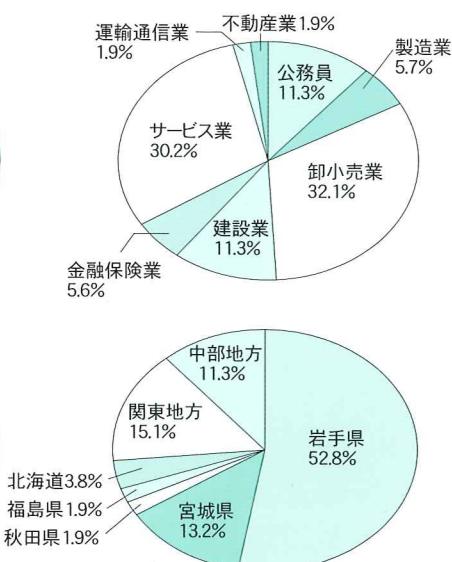
児童教育学科



日本文学科



英米文学科



業種別

地域別

インフォメーション・聖陵



盛大を振り返つて

元盛岡大学英米文学科教授／現在、作新学院大学教授
富田 光明

北上夜曲が新幹線の車中に流れ始めると、私の心は躍る。次の駅が北上であるとわかつてないながら頭の中ではもう盛岡なのです。ソワソワしていると列車は中津川・零石川そして北上川とが合流するあたりでスピードを落とす。本当に盛岡に着いた。「もりおか」というひらがなの駅名を眺めてほっとする。これは、長期休暇を終え、浦和から盛岡へ戻る私たち親子のひとこまです。開運橋を横目で眺めながら北上川に沿って北上した上堂・月が丘に寓居があつたのです。岩手山に見守られた盛岡の北の一点に我が家が在るのだと思い不思議な安堵感を覚えたのです。

「ひと」を語るとき人々はその人の父母のイメージを追うことがある。私が盛岡を語るときには岩手山と北上川のイメージが不可欠である。盛岡は四季それぞれの顔を持つ。早春の北上川、馬っこ祭りを迎える岩手山、秋の夕映えの岩手山、白鳥が飛来する冬の北上川。今振り返ると、人それぞれが独自のアングルで盛岡を見ていたことに気づく。



「オルガンと共に」

盛岡大学児童教育学科 助教授
小林みゆき

盛岡大学に赴任してから、まもなく十四年が過ぎようとしています。音楽を担当する他に、礼拝の奏楽も受け持つてきました。厨川に校舎があつた時は、唯一広い階段教室にグランドピアノがあり、礼拝の奏楽は、そのピアノで行いました。奏楽用のオルガン曲はほとんど足鍵盤を使用するものが多め、前奏や後奏の曲目を選択するのに苦労していました事を思い出します。滝沢村の砂込キャンバスに移転してからは、はじめピアノでしたが、電子オルガン（チャーチオルガン）が入り、それで礼拝が行われるようになり、今日に至っています。オルガンに座っている若いと思われるボブの小林先生も、多くの学生さんは巣立つていて、うちに年をとつて、髪型は変わらないけれども、振り返ると、やはり、それだけの年月を物語るようになりました。

盛岡大学に赴任してから、まもなく十四年が過ぎようとしています。音楽を担当する他に、礼拝の奏楽も受け持つてきました。厨川に校舎があつた時は、唯一広い階段教室にグランドピアノがあり、礼拝の奏楽は、そのピアノで行いました。奏楽用のオルガン曲はほとんど足鍵盤を使用するものが多め、前奏や後奏の曲目を選択するのに苦労していました事を思い出します。滝沢村の砂込キャンバスに移転してからは、はじめピアノでしたが、電子オルガン（チャーチオルガン）が入り、それで礼拝が行われるようになり、今日に至っています。オルガンに座っている若いと思われるボブの小林先生も、多くの学生さんは巣立つていて、うちに年をとつて、髪型は変わらないけれども、振り返ると、やはり、それだけの年月を物語るようになりました。

かけてくれた若い方がいました。「小林先生ですね。私は盛岡大学出身ですが、学生時代に礼拝で讃美歌を歌つた事が結構忘れないというか、よかつたなあと思う時があるんですよ。」私は何ともいえない、うれしい気分になりました。昨年の十一月には、盛岡市民文化小ホールに

英米文学科の外に他学科でも英語を教えていました。毎年、四月の最初の授業で私は自己紹介を兼ねて自己の信条「他人には厳しく、自己には甘い」を神妙に述べると、教師に多大な期待をかけようとすると自分が誤っていたのだと気づいた学生たちの顔つきが今となつては懐かしい。彼らは今どうしているだろうか。きっと、私以上に人間的に成長し、「自分に厳しく他人に優しい」との信条で社会を支えているのだと思うと、何となく肩の荷が下り幸福を感じる今日この頃である。私にとって盛岡は第二の故郷である。

だに私の脳裡に焼き付いている盛岡は、あまりに風光明媚であるが故に人のふれ合いを忘れてしまがちである。しかし、盛岡大学での四年間（昭和六十年～平成元年）は、そうではなかった。入学式・まだ高校生の面影を残している新入生との不自然な会話。眠い目をこすりながら朝の讃美歌をつぶやいた八幡平のフレッシュマンキャンプ。大学祭での意味不明な展示を見て下さったお客様。毎年律儀にもホワイトクリスマスとなり、底冷えする教会での礼拝。そして、ぬかるみを重い足取りで卒業式会場の公会堂へ向かいながら年に一度の自己批判。これらのこと私が私人アクセントをもたらしてくれたことは事実である。

英米文学科の外に他学科でも英語を教えていました。毎年、四月の最初の授業で私は自己紹介を兼ねて自己の信条「他人には厳しく、自己には甘い」を神妙に述べると、教師に多大な期待をかけようとすると自分が誤っていたのだと気づいた学生たちの顔つきが今となつては懐かしい。彼らは今どうしているだろうか。きっと、私以上に人間的に成長し、「自分に厳しく他人に優しい」との信条で社会を支えているのだと思うと、何となく肩の荷が下り幸福を感じる今日この頃である。私にとって盛岡は第二の故郷である。

そのような状況にあっても来年迎える盛岡大学創立二十周年、大学の母体でもある学校法人盛岡大学の創立五十周年を節目に今後も同窓会の結束力を深め、継続していくために日々その方策を模索しています。同窓生のみなさんのご協力をよろしくお願いします。

さて、これまで報告してきたように聖陵同窓会一般会計が平成十二年十二月二日の役員会で議決されたので掲載しました。ご覧ください。

今後もハガキ、電子メールなどで事務局に対するご意見、ご要望を寄せてください。同窓生のみなさんの声が

事務局から

平成11年度
聖陵同窓会一般会計報告
(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

現在同窓会の事務局は、大塚健樹事務局長（元教一期生）を中心とする盛岡大学短期大学部、附属高等学校、附属幼稚園に勤務する同窓生で行っています。卒業生のみなさんと一緒に日常業務に追われ、また同窓会員の増大に対し、なかなか円滑に業務の推進が困難なのが現状です。

現事務局長（元教一期生）を中心とする盛岡大学短期大学部、附属高等学校、附属幼稚園に勤務する同窓生で行っています。卒業生のみなさんと一緒に日常業務に追われ、また同窓会員の増大に対し、なかなか円滑に業務の推進が困難なのが現状です。

収入の部		支出の部			
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
繰越金	2,224,596	2,224,596	事業費	1,050,000	620,330
会費	3,390,000	3,350,000	事務費	60,000	5,111
雑収入	92,500	55,879	通信費	500,000	307,969
寄付金	0	0	会議費	50,000	12,307
			慶弔費	50,000	8,000
			旅費交通費	100,000	44,000
			財政基金繰入支出	3,000,000	3,000,000
			予備費	897,096	0
			計	5,707,096	3,997,717
			繰越金	0	1,632,758
合計	5,707,096	5,630,475	合計	5,707,096	5,630,475

(単位円)



●編集委員

吉田典子（旧姓高井） 第2期生
川村匡世 第4期生
瀬川 治 第7期生
藤澤弘樹 第9期生
三戸淳一 第4期生（データ入力担当）
●連絡先 TEL020-0183

岩手県岩手郡滝沢町字砂込808 盛岡大学内 同窓会事務局 TEL019-688-5555

盛岡大学ホームページ <http://www.nnet.ne.jp/~moridai/>

（e-mailは同窓会ホームページができるまではタイトルを「聖陵同窓会」として mc-soumu@nnet.ne.jpに送って下さい。）

編集後記

第4号を何とか刊行でき、編集委員一同ほっとしています。前号のアンケートハガキは114通の回答があり、その中から皆さんの声をくんで記事内容を決めました。残念ながらメールは2件（1件は2P目の武藤さんから）でした。メールを送られた方には、すぐ返事を出せるようにしていますので、是非ご利用下さい。

そこから新たな交流がはじまるはずです。編集員一同お持ちしています。